

飛躍

HIYAKU

第458号

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL



東海大学付属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日／2026年1月1日

●発行者／東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

あけましておめでとうございます

吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト 金賞受賞!



高校吹奏楽部 全日本マーチングコンテストでの様子

新年を迎えて ～さらなる改革を目指して～



校長
片桐 知己治

新年あけましておめでとうございます。2026年、新しい年の始まりです。

研修旅行、建学祭、体育祭、剛健旅行、中等部の合唱祭、建学の地静岡でのオリエンテーション合宿など、今年度も充実した活動が実施されてきました。ただ、残念ながら近年の人手不足からくるバスドライバー不足のため、昨年度に引き続

き今年度も高校体育移動授業が実施できていません。高校の体育祭も、雨が降ったら「延期」ではなく「中止」になってし

まうなど、綱渡り状態の行事が続いています。そんな状況で今年度も予定されていたすべての行事が実施できたのは、奇跡に近かったのかもしれませんが。現在高校3年生の希望者がカナダ中期留学に行っていますし、この後2月に中等部3年生の海外研修旅行がオーストラリアで予定されていますが、無事実施できることを願っています。来年度は、バスを使わず、さいたま新都心駅から歩いて本校さいたま総合グラウンドに移動して、高校の体育移動授業が実施できないか検討しています。3月には中・高3年生を送る卒業証書授与式が開催されます。中・高3年生の皆さんにとっては、本当にあっという間の3年間だったのだらうと思います。

高校吹奏楽部が3月の全日本アンサンブルコンテスト、11月の全日本マーチングコンテストで金賞を受賞しました。12月にはマーチングバンド全国大会に出場しました。

吹奏楽部の活躍の他、本校の部活動は頑張り、剣道部がインターハイに、男子バスケットボール部、剣道部が国民スポーツ大会に、中・高ダンス部が全国大会に、柔道部、剣道部、男子バレーボール部、陸上競技部、サッカー部、弓道部が関東大会に出場しています。

22年目を迎えたSSH活動ですが、10月25日に行われた成果報告会には、タイ王国から2校、国内のSSH校4校、合わせて100名を超える高校生を受け入れ、英語による口頭発表、ポスター発表を行いました。さらに本校の探究活動は成果を収め、10月4日に「総合的な探究の時間」成果

発表会を実施しました。充実した研究発表が行われ、たくさんの質問に一つ一つ丁寧に解説がされました。

12月には、高校3年生の約81%、367名が東海大学に合格し、希望の専門分野に進学します。また、これらの生徒のうち、61名が特別奨励となりました。現在高校3年生は、それぞれの進学先に合わせた特別講座を受講しています。

昨年も中等部・高校の学校説明見学会には、たくさんの受験生が来校してくれました。間もなく中高の入試シーズンを迎えますが、東海大学の建学の精神に共鳴した新入生を4月にはお迎えしたいと思います。

今年も生徒・保護者・教職員で力を合わせ、一步一步前進していきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

部・同好会活動報告

高校
吹奏楽部

第38回全日本マーチングコンテスト 金賞受賞！

全国大会を終えて

ドラムメジャー 3年1組 井下 すみれ

私たち吹奏楽部は、11月23日に行われた全日本マーチングコンテスト全国大会において金賞を受賞、また、オールAという結果をいただくことができました。練習では、大会直前までの詰めた練習の中で、自分たちのたくさんの課題が見つかると同時に、仲間を思う気持ち、ショーへのこだわりが日に日に芽生えていきました。目標としてきた夢の舞台でこのような結果をいただけたのは、日頃から支えて応援をしてくださる皆様のおかげです。本当にありがとうございます。ふさわしいバンドになれるよう結果に驕らず、たくさんの感謝を言葉、形にできるバンドを目指し、残り少ない3学年の活動を最後まで走り切りたいと思います。本当に応援をありがとうございました。



野球部

秋季東京都高等学校野球大会 ベスト8

学校一丸となり…

野球部監督 深澤 建人

このたびは、野球部の秋季東京都大会準々決勝の応援に来ていただき、ありがとうございました。球場に来ていただいた方の声援を受け戦いましたが、準々決勝敗退となってしまいました。今大会を通し、選手たちは成長を重ねていくことができ、来春、来夏に向け、すでにチームは前を向いて練習を重ねています。また、トーナメントが進むにつれ、先生方、生徒から「次も頑張って!」と声をかけられ、改めて皆さんの注目を感じ、チーム一同背筋が伸びる思いで学校生活を過ごす所存です。本校初の「甲子園出場」のため、今後も精進してまいります。これからも、応援をよろしくお願いします。

感謝と挑戦

野球部主将 2年5組 新井 律

今年度の秋季東京都大会は、皆さんの応援のおかげでベスト8という結果を残すことができました。関東第一高戦では、お忙しい中、急な声掛けにもかかわらず、八王子まで駆けつけてくださった生徒の皆さんや先生方、本当に熱い応援をありがとうございました。自分たちが野球をできる環境を作っていただいた学校関係者の皆様、そしていつも陰で自分たちのことを支えてくださっている保護者の皆様には、とても感謝をしています。

自分たちの代は上の学年で試合に出ていた選手が少なく、皆不安の中新チームがスタートしました。その中で自分が大事にしていた言葉は、「全員で戦う」という言葉です。この冬で気持ちの部分だけでなく技術面でも成長し、自分たちの代で「初の甲子園出場」を達成するために全員で泥臭く戦っていくので、これからも応援をよろしくお願いします。



ダンス部

ダンス部 定期公演

LAST BOOTY

高校ダンス部元部長 3年1組 木阪 風南

11月13日に大田区民ホール・アブリコにて、第8回定期公演を行わせていただきました。見に来ていただいたすべての方々、本当にありがとうございました。中高3年生の3年間の集大成でもあり、感謝と感動を伝えられるような公演にするために一生懸命練習をしてきました。たくさんの方々を支えられ、中高全員で踊る最後の舞台を無事に終演することができました。私たち18人はここで引退となってしまいましたが、今後もダンス部の応援を引き続きよろしくお願いします。約3年間、たくさんの応援を本当にありがとうございました。

最初で最後の定期公演2025

中等部ダンス部元部長 3年B組 長縄 海夕

私たち8人は11月13日の公演を最後に引退しました。公演最初は引退の実感がないまま楽しく踊っていましたが、終わりに近づくほど3年間の思い出が込み上げ、寂しさをかみしめながら踊りきりました。つらいこともありましたが、最後にこのメンバーで踊れたことが一生の思い出です。後輩たちにも楽しく感動的な公演を作ってほしいです。3年間ありがとうございました。



観客の声援を力に変えて

庄巻のSolo演技

最後まで全力で!

笑顔のあふれる瞬間

部・同好会活動報告

サッカー部

第104回全国高校サッカー選手権東京大会
2次予選 Aブロック 第3位

幸せな80分間

キャプテン 3年4組 土田 歩汰

11月8日(土)に西が丘で行われた選手権予選準決勝 vs 國學院久我山高校では、たくさんの応援をありがとうございました。結果としては悔しさの残るものになってしまいましたが、皆さんの応援のおかげで、最後まで走りきることができました。

このチームは、高輪台高校サッカー部として初めて関東大会に出場することができました。一つ結果を残せましたが、その後に勝てない時期が長く続きました。私たち選手もチームスタッフも、皆で苦しいトンネルの中を歩いていました。

迎えた選手権予選、3年生にとっては最後の大会でした。全国大会出場という大きな目標に向かって、3年間努力を積み重ねてきました。残念ながら全国への切符を手にするには叶いませんでしたが、一つ一つのプレーに湧き上がるスタンド、たくさんの人たちに応援され、見守られながらプレーできたことは、私たちにとって大きな経験となりました。たくさんの方の支えがあったからこそ立てた舞台だと実感しています。とても幸せな80分間でした。応援をありがとうございました。



ダンス部

LINK Generation Fes.
youth DANCE STAGEで審査員特別賞受賞

2度目のyouth DANCE STAGE

高校ダンス部副部長 2年8組 大西 華子

私たち中高ダンス部は、11月16日にTAKANAWA GATEWAY CITY-THE LINKPILLAR1 SOUTHで行われたyouth DANCE STAGEに出場させていただきました。また、高校2年生は特別賞を受賞することができました。前回出場させていただいた際は、2年生は賞をいただくことができず、悔しい思いをしました。しかし、2度目の出場で賞をいただくことができ、とても嬉しかったです。この結果を得られたのは、日頃からたくさんの方々の支えがあったからこそだと思います。日々の感謝を忘れず、今後も新体制としてふさわしい姿をお見せできるよう、全員で励んでいきます。



BBOY NORI 特別賞!



新チームで初めてのステージ (写真提供:JR東日本)

Most Valuable Dancer 受賞!
後列左から 高橋君、斎藤さん 前列左から 丸林さん、新井さん

美術部

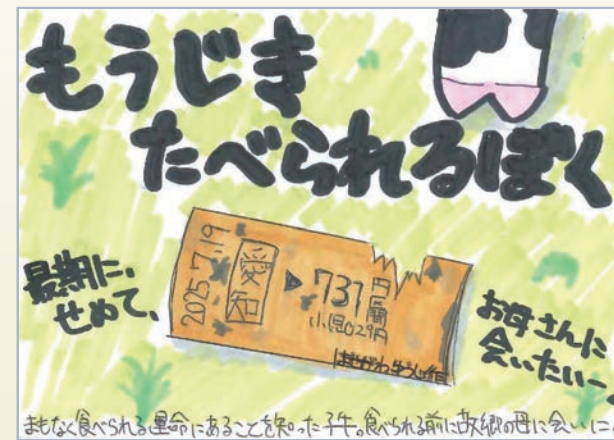
「中高生書評合戦2025」POPバトル部門で快挙

港区立図書館主催による区内在住・在学の中高生を対象にした「中高生書評合戦」が開催され、POPバトル部門には304作品の応募がありました。本校美術部もこの部門に作品を応募し、一次審査を通過した20作品の中に5名の生徒の作品が選ばれました。さらに、最終審査では生徒2名の作品が見事、POPバトル部門でチャンプ本(第1位)と第2位に輝きました。



【チャンプ本】 3年6組 齊田 つむぎ

私の好きな本で、POPバトル部門にてチャンプ本を受賞させていただけたことをとても嬉しく思います。このPOPを描くにあたり、この作品の儚さと青春を感じられる雰囲気、世界観が表現できるように意識をして、普段より淡い色を使用して制作しました。空気感を壊さないよう作品の魅力を伝えるのは簡単ではありませんでしたが、とてもやりがいがありました。今回の受賞を励みに、今後もより良い作品を制作していきたいと思います。



【第2位】 2年1組 小山 陽菜

POPバトル部門において、数あるたくさんの素敵な作品の中から、自身の作品が第2位に選ばれたことを嬉しく思います。今回描いたPOP作品は、1度見たら、“どんな内容の本なのだろう”と興味を引くようなインパクトを重視したり、また、本を読んだ人にはわかるような小ネタも所々に散らばせました。本を読む前も後も楽しめるようにするなど、自分なりに工夫を重ねてきたことを評価いただき、このような荣誉に預かれて大変光栄です。

【入賞】



1年9組 金子 心優 さん作品



1年A組 加納 聡 さん作品



1年B組 鷹本 葵 さん作品

部・同好会活動報告

男子 バレーボール部

第78回全日本高等学校バレーボール選手権大会 東京都代表決定戦 ベスト4

キャプテン 3年2組 小泉 和希

私たち男子バレーボール部は、全日本選手権東京都予選にてベスト4という結果でした。私たち以外のチームはどれも全国優勝経験があり、それらのチームに対して最後まで抗い続けましたが、悔しくも敗退し3年生は引退となりました。当日は全員が緊張していましたが、またとないチャンスを皆が楽しんでいました。1年生の頃は代表決定戦に上がることでできなかったのですが、3年間でここまでチームとして、人間としても成長することができたので、今年度はすべての大会で東京都ベスト4を取ることができたのだと思います。試験期間中にもかかわらず応援に来てくださった方々、本当にありがとうございました。これからも男子バレーボール部の応援をよろしくお願いします。



11月29日 東海カルチャーセミナーが 開催されました

バドミントン女子元日本代表 末綱 聡子 先生

今年度の東海カルチャーセミナーは、昨年度に引き続き、東京都教育委員会の「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」事業を活用し、講師としてバドミントン女子元日本代表の末綱聡子(すえつな さとこ)先生をお迎えしました。生徒・保護者合わせて約600名に対し、「夢・目標に向かって困難を乗り越えるための考え方」という演題でお話しいただきました。

末綱先生ご自身の選手時代の悩みや失敗談を含めたお話は、参加した運動部の生徒たちにとって共感できる部分が多く、質疑応答ではバドミントン部の生徒だけでなく、多くの生徒が積極的に質問し、充実した時間となりました。短い時間ではありましたが、生徒たちにとって、自分自身を深く見つめ直す貴重な機会となりました。

●末綱聡子先生ご紹介

8歳の時、地元のスポーツ少年団でバドミントンを始め、1998年には全国高校選抜大会、全国高校総体でダブルス優勝。翌年、当時のNEC九州に入社。2004年、前田美順選手の入社によりペアを組み始め、その年の日本ランキングサーキット大会でダブルス優勝。2008年北京オリンピックでは、アテネオリンピック金メダリストペアを破り、日本バドミントン界初のベスト4入りを果たしました。2012年ロンドンオリンピックでは予選リーグ敗退となったものの、同じペアで2大会連続のオリンピック出場を達成。現在は岐阜Bluvicバドミントンチームのコーチを務める傍ら、バドミントンレッスンや講習会などの活動も行っています。



2025年度学校運営方針

実践目標

情報化時代に即応し、自らが情報発信基地になれるよう、 教職員・生徒の情報教育の推進を図る

現代社会は、情報が瞬時に世界を駆け巡る時代です。教育現場においても、ICTの活用はもはや特別なものではなく、日常の学びを支える基盤となっています。学校生活や受験、将来の就職・仕事においても、インターネットを活用し、情報を適切に収集・発信する力が求められています。しかし、情報があふれる時代だからこそ、単に情報を得るだけでなく、正しく理解し、活用する力(情報リテラシー)を高めることが不可欠です。

情報リテラシーとは、必要な情報を効率的に探し出す「収集力」、その信頼性や正確性を判断する「評価力」、得た情報を正しく理解し分析する「理解力」、そして問題解決や意思決定に活かす「活用力」を指します。本校では、情報の授業はもちろん、各教科でICTを活用する場面を通じて、生徒がこれらの力を身につけられるよう指導しています。

現在、本校では、「生成AI」の活用に積極的に取り組んでいます。「生成AI」は、学習や仕事の在り方を大きく変える可能性を秘めています。例えば、レポートの構成を考える、アイデアを整理する、複雑な情報を要約するなど、学習を支援する場面で活用できます。本校では、生徒が疑問や課題に対して生成AIに質問し、納得できるまでやり取りを繰り返すことで解決にたどり着く、まるで「自分だけの家庭教師」のように「生成AI」を授業だけでなく、身近なものとしてほしいと考えています。

しかし、AIが作成した情報には誤りや偏りが含まれる場合もあり、無批判に利用すると危険です。そのため、生徒は「AIを使う力」だけでなく、「AIを正しく評価し、責任を持って活用する力」を身につけることが大切です。本校では、教員がAI活用の教育方法を研究し、生徒に適切な使い方を指導することで、急速に変化する社会に対応できる力を育てます。

情報化社会は便利である一方、正しい理解と責任ある活用が欠かせません。本校では、ICTや生成AIを安全かつ効果的に使う力を育て、未来を切り拓く人材の育成に努めています。ご家庭でもぜひ、情報の扱い方について話し合い、共に生徒の成長を支えていただければ幸いです。

2025年度 東海大学学園オリンピック(文化部門) 二次審査(試験) 結果発表

11月21日、学園オリンピック(文化部門)の二次審査(試験)結果が発表されました。本校からは8名の生徒が6つの部門で一次試験・審査に合格しましたが、うち4部門の4名の生徒が右の成績を収めました。

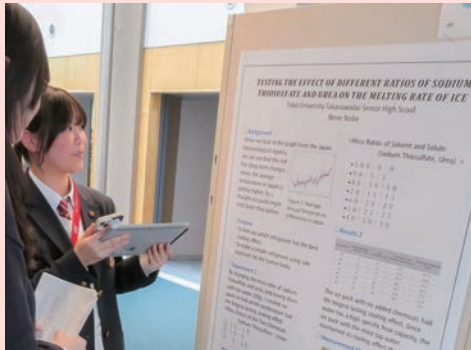
国語部門	努力賞	矢内 葉	2年 6組
数学部門	優秀賞	炭田 真一	3年 5組
英語部門	奨励賞	伊藤 菜穂	3年 6組
ディベート部門	努力賞	川崎 礼雄	2年10組



SSH活動報告

11月に立命館高校(京都府長岡京市)で行われた「Japan Super Science Fair (JSSF)」に3年生2名が参加し、研究発表と交流を行いました。11月22日に東海大学付属浦安高校で行われた「世界一行きたい科学広場 in 浦安2025」に、SSH委員の生徒6名が展示解説員として参加しました。

1年生のサイエンス基礎の授業において、国語表現演習とブレ課題研究(生物)の実習が行われました。国語表現演習では、東京海洋大学の佐々木剛先生のご協力で学生の皆さんと共に、ウォータース竹芝で実習を行いました。ブレ課題研究では11月29日に、NPO法人緑のダム北相模の宮村連理先生にご協力いただき、相模湖周辺で森林実習を行いました。



発表の様子

JSSFに参加して

3年10組 野邊 音希

京都で行われたSSHの発表会に参加し、たくさんの国の方々と直接交流できたことがとても印象に残りました。最初は会場の雰囲気さに圧倒されましたが、話しかけられるたびに緊張が少しずつほぐれていきました。英語で説明するのはとても不安でしたが、相手が熱心に聞いてくださり、質問をしてくれたことで自信が持てました。また、休憩中には文化の違いや学校での取り組みについて話し合い、お互いに驚くことも多く、新しい視点をたくさん得られました。他校の研究発表を見て回る中で、それぞれの工夫や視点の違いに刺激を受け、自分の取り組みを客観的に見直すきっかけにもなりました。今回の経験を通して、周囲から受ける刺激が自分の成長につながることを実感しました。今回の経験から学んだことを大切にしながら、これからの研究や生活に活かしていきたいと思います。

浦安での学び

1年10組 大畑 雄義

ペットボトル顕微鏡を作るのを説明する中で、小学生たちにそのコツを教えました。彼らが顕微鏡を完成させるのを見て、一緒に達成感を得られて、楽しかったです。また、他の展示を見て回る中、高輪台高校では履修しない地学に関する展示を体験することができ、とても刺激的でした。ソーラーカーの見学では、軽量化のためにモーターが一輪のみで動いていることなど、速く走るためのさまざまな工夫に驚かされました。東海大学のチームがレースで好成績を収めることができた要因を知ることができました。



ソーラーカーの実演



解説の様子



ウォータース竹芝にて

ウォータース竹芝にて

1年10組 佐藤 広歩

先日、私たちはグループでウォータース竹芝に行き、専門知識を持った大学生と共にテーマを決め、探究活動をしてきました。私たちは環境によって生き物も違うのではないかという仮説を立て、その理由を探究することに決めました。私たちは探究の中で微生物の生息に違いがあって、それが魚や甲殻類などの比較的大きな生き物の生息にも影響を及ぼすのではないかという仮説を立てました。はじめはこの仮説に対して、生息する微生物を調べる範囲が狭かったので、それに違いなんて出ないだろうと思っていました。しかし、最終的には探究の中でこれも原因の一部であると考えられる結果にたどりつきました。今回の探究活動を通して、どんな奇抜なアイデアでもとりあえず出してみることで、そしてそれをためらわなくていい空気を作ることが大切だと気づくことができました。この学びを今後のSSHでの研究活動や普段の日常に活かしていきたいと思います。

森林実習で学んだこと

1年10組 鳴嶋 誠

今回の実習で印象に残ったことは2つです。1つ目は山を管理する人が、木を切る際にどのように木の切り方や倒す向きを決めるのかを知ることができたことです。特に自分の班では、2本も木を切ることができ、特に2回目の時には1回目に教わった方法で自分たちを中心に組みめました。2つ目は植生調査のところで、前回の実習で習った調査方法を実際に行うことができたことです。とても勉強になりました。他にも、木を切った場所は木々の間隔が整備されているのに対し、測量や植生調査を行った場所では木々の間隔が狭くて暗く、野草も小さくなっていることに気づきました。



森林実習での1枚

生徒会 今期役員紹介

生徒会役員選挙で決まった今期の生徒会役員を紹介します。生徒会役員は次の生徒会役員選挙までの一年間、高輪台高校・中部部の学校生活がさらに良くなるように力を注いでくれます。生徒の皆さんも新役員のもと、生徒会活動が活発になるよう協力していきましょう。

中部部生徒会新役員

会 長 2年 B組 清水 誠太

副会長 2年 B組 佐竹 佑月

副会長 1年 B組 藤井 星龍

会 計 2年 B組 鈴木理桜士

書 記 1年 B組 岡本 康佑

高校生徒会新役員

会 長 2年 3組 國友 旺汰

副会長 2年10組 高木 翔天

副会長 1年 7組 澤井ももこ

会 計 1年 1組 坂本昂多朗

会 計 1年 4組 石橋 青空

書 記 1年 3組 牛田 帆香

書 記 1年10組 吉永 謙



左から 岡本君、佐竹君、清水君、藤井君、鈴木君

後列左から 坂本君、石橋さん、牛田さん、吉永君
前列左から 澤井さん、國友君、高木君

中部部生徒会会長

2年B組 清水 誠太

このたび、中部部生徒会会長になりました清水誠太です。私は今年初めて生徒会に入り、まだまだ慣れないこともたくさんありますが、これから皆さんが学校生活をもっと楽しく過ごせるように全力を尽くして頑張ります。学校は、私たち一人ひとりの行動や気持ちで雰囲気がガラッと変わると思います。だからこそ、みんなが安心できて、いろいろなことに挑戦し、切磋琢磨できるような学校にしていきたいと思っています。また、お互いに信用し合える関係性をつくり、クラスや学年を超えて協力しながら楽しく過ごすことで、全員の記憶に残るような学校をつくり上げていきたいと思っています。そしてこの学校の生徒たちの意見も、学校行事での生活に取り入れていきたいと思っています。さらに、生徒会長になったことで「成長したね」と言われるように、自分自身も成長していきたいです。これから精いっぱい頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

高校生徒会会長

2年3組 國友 旺汰

このたび、高校生徒会会長になりました國友旺汰です。この学校は、部活動や行事のいずれにおいても、生徒が主体的に挑戦し、成長できる素晴らしい環境です。そのような環境の中で、学校行事の企画運営や学校生活の環境改善に力を入れ、生徒の皆さんが今より充実した高校生活を送れるよう努めていきます。また、建学祭では新たな企画や出し物を行い、さまざまな行事をさらに盛り上げ、生徒の皆さんの笑顔がより一層増えるよう、高校生徒会一同力を合わせて努めていきます。皆さんに信頼される生徒会を目指し、私たちの活動を通して学校をより良くしていきます。演説の際にも述べた通り、一人ひとりの声に耳を傾け、皆さんの思いを形にしていきます。また、中部部からこの高輪台で過ごしているからこそ、今、皆さんに何かが必要かを考え、会長としての責任を自覚し、どんなときも冷静に判断し、周囲を引っ張っていきけるよう努めていきます。1年間よろしくお願いいたします。

第17回 中部部体育祭開催

11月12日、中部部の体育祭が行われました。赤組も白組も、練習の成果を存分に発揮し、大きく成長した姿を見せてくれました。仲間と励まし合いながら一生懸命に取り組んだ経験を、今後の学校生活にも生かしてもらいたいです。

みんなで頑張った体育祭

体育祭実行委員長 3年A組 後藤 梨乃

私は体育祭実行委員長として、中部部全員が楽しめ、思い出に残る体育祭にしたいと考えていました。これは私一人の力では、到底できませんでしたが、他の体育祭実行委員と力を合わせたり、学年や先生方と協力することによって、実行委員長としての役割が果たせたと思います。体育祭は勝負事なので、結果としては勝敗がつき、悔しい思いをした人もいましたが、今までにないほど接戦だったと校長先生がおっしゃっていたので、みんなが全力で諦めずに競技に取り組み、体育祭当日までたくさん練習したからこそ接戦になったのだと思います。

私はこの経験を通して、計画性の大切さと協力し合うことの大切さを学びました。例えば、箱リレーで相手チームがゴールし、負けが決まっても敵味方関係なく、みんなで箱を拾い合って一緒にゴールまで走れば、負けという結果となってしまうと、みんなで協力して頑張ることで、お互いの絆もより一層深くなったのではないかと感じました。このように体育祭で培ったことを、残り少ない中部部生活でも生かしていきたいです。

1年



2年



3年



3年



大玉運び

剣道演武



2・3年



徒競走



玉入れ



1年



箱リレー



2・3年



ダンス(女子)



背渡りリレー

3年



最終結果

赤組 白組
674 706

【優勝】白組

【行進賞】3年A組



行進賞3年A組



選手宣誓



赤組
団旗

白組
団旗



表彰式



優勝の瞬間

行進賞 3年A組

協力の大切さ

3年A組 沼田 一真

私たちのクラスは、「心をひとつにして行進すること」をモットーに練習をしてきました。ただ足並みをそろえるだけではなく、お互いの気持ちを合わせて動くことを意識しました。練習始めは、号令に合わせて歩くだけでもバラバラで、思うようにいかない日々が続きましたが、互いに声をかけ合って、前後左右、相手の動きをよく見て動くうちに、少しずつ列がそろっていくのがわかりました。また、一番きれいにさせるにはどうしたらよいか意見を出し合っていくうちに、クラス全体の雰囲気も前向きになっていくのが感じられました。

体育祭当日は、緊張しながらもスタートの合図と同時に全員の気持ちがひとつになり、これまでで一番美しい行進ができたと思います。こうして行進賞をもらったのは、努力の積み重ねと仲間を信じる気持ちのおかげです。この経験から、気持ちをひとつにして協力することの大切さを学びました。これを今後の学校生活でも生かしていきたいです。

優勝した白組の感想

1年B組 中根 茂

中部部生活で初めての体育祭でした。私は体育祭実行委員を任されたので、当日はとても緊張しましたが、先輩たちと協力して頑張ったおかげで実行委員の仕事がこなすことができました。特に難しかったことは、徒競走の順位ごとに走り終えた人たちを誘導することです。来年度は今年度の経験を活かし、先輩たちみたいに後輩を助けてあげられる先輩になりたいです。

2年B組 鈴木 ことみ

私が体育祭で印象に残ったことは、「クラス対抗全員リレー」です。練習の時は、バトンパスがなかなかうまくいかず、勝つことができませんでした。しかし本番ではチームワークを発揮し、バトンもうまくつないで1位と3位になることができました。この結果は全員で応援をして、協力をして、頑張ったからだと思います。白組が勝つことができ、嬉しかったです。来年度も今年度の経験を活かし、勝利を目指したいです。

3年B組 五島 凜

今回の体育祭では白組が優勝しました！序盤では赤組が優勢だったのですが、最後まで諦めずに1位を取るために全力で挑みました。お互い全力で取り組んだことで、接戦が続き、競技が終わるまで、終始、ハラハラドキドキが止まらなかったのですが、見事優勝することができました。この優勝は白組のみんなが頑張った結果であり、相手をおとしめたりすることなく、お互い敵など関係なく応援し合ったり、全力で楽しんだ証でもあると思います。



台風の日



クラス対抗全員リレー



部活動対抗リレー



中部だより

キャリア教育

11月27日(木)に行われたキャリア教育では、多様な職業や生き方に触れながら、自分たちの将来を考える、良い時間となりました。

1年 株式会社明治

- 明治ブルガリアヨーグルトができるまでに、いろいろな工程があり、とても大変だったということがわかった。授業もとても楽しかったし、ヨーグルトもとてもおいしかった。
- ヨーグルトの秘密がわかった。ヨーグルトはよく食べているので、身近なものを詳しく知れて良かった。また、明治ブルガリアヨーグルトが開発されるまでにたくさんの苦労があり、そのヨーグルトを食べることができて良かった。
- ヨーグルトは、どんなに味がおいしくても、パッケージが良くないと売れないということがわかった。ヨーグルトのフィルムにヨーグルトがつかなくてびっくした。
- 明治ブルガリアヨーグルトがどうやって作られたのか知らなかった。ブルガリアという名前を使うのにも大変だったのだとわかった。また、栄養などしっかり考えられていて、こんなにおいしいのに健康にも良いのはすごいと思った。実際に食べてみて、容器にも工夫があり、何気ない工夫に気づかされた。



ヨーグルト試食中

1年 株式会社シード

- 光の反射を理科で行っていたので、学校で学んだことに関連付けて、説明してくれたので、わかりやすかったです。コンタクトレンズを実際に触れることができたので良かったです。
- 株式会社シードの方からコンタクトレンズの話を聞くことができました。レンズにはハードとソフトなどの種類があることや、使い方や注意することを知ることができました。僕は今眼鏡をかけていて、スポーツをする時や眼鏡が突然壊れた時、災害にあった時などコンタクトレンズがあるといいなとずっと思っていました。もし今後コンタクトレンズを使うようになったら、正しい使い方をしたいと思います。



コンタクトレンズを直に触ってみました

2年 株式会社パンパシフィック・インターナショナルホールディングス(PPIH) 鈴木康夫さん

- ドン・キホーテで、水産高校で働いていた経験を生かして仕事をしているお話を聞いて、自分の好きなこと、得意なことを生かせる仕事につけたいなと思いました。水産高校の教師をしていた時のことや、今、ドン・キホーテで魚に関わる仕事を担当しているというお話をしている時がとても楽しそうで、印象に残っています。
- 人生で半分以上の時間を過ごしても、新たなことを始められるチャンスはあるということが、話を聞いてみてわかった。
- ドン・キホーテがやりたいことを大事にして採用するという話を聞いて、自分の個性や興味を活かせる働き方がいいなと思った。働き方に自由があって魅力的だなと思った。



2年 イラストレーター かなざわまことさん

- 「好きなことをすればいい」という言葉が心に残りました。私は将来のことを考えると、不安でいっぱいでした。でも、かなざわさんの話を聞いて、無理に周りに合わせて決めるのではなく、自分が楽しいと思うことや興味があることを大切にすればいいのだとわかり、気持ちが軽くなりました。また、挑戦して失敗しても、それは次に進むための経験になると聞き、失敗を怖がらずに挑戦する勇気が湧きました。これからは、自分の好きなことを見つけて、少しずつでも挑戦していきたいと思います。今回の授業は、自分の気持ちに自信を持てるきっかけになりました。
- たくさんのためになるお話を聞けました。私は将来、やりたい職業、なりたいものがなかったけれど、かなざわさんのキャリア教育を受けて、好きなものに関するものを職業にするという目標ができました。実際、かなざわさんは絵の仕事をしていて、とても楽しそうだったし、私もあんなふうな大人になりたいと思いました。



3年 自衛隊

3年A組 藤森 亮人

今回のキャリア教育では、自衛隊について学び、災害時に役に立つ活動を体験しました。災害時に役に立つ活動では、けが人と遭遇した時に毛布などで簡易的な担架を作って運ぶことができました。また、新聞紙を使って簡易スリッパを作る活動では、簡単に作る事ができたので、実際に災害が起きて困っている人がいたら、教えてあげることができると感じました。自衛隊については、職種が多さに驚きました。また、一年間に数百件以上も派遣されていることから、とても大変な仕事なのだと改めて感じました。今回のキャリア教育を通して、災害時に役に立つ知識や、自衛隊の方々の仕事内容をより深く学ぶことができ、良い経験になりました。



毛布を使った簡易担架体験(3年)

3年B組 佐々木 優奈

自衛隊によるキャリア教育を通して、災害が起こった時にどのような行動を取れば良いかを知り、普段の授業ではできないようなことを実際に体験することができました。新聞紙でスリッパを作る活動では、身近なものでも工夫次第で災害時に役立つ物ができると実感しました。毛布を使って人を運ぶ体験では、災害時の危険な場面でも毛布を使うことで少ない力で運べることを学び、運ぶ人の声かけや息を合わせることの大切さを知りました。今回の体験で、身近で役立つ知識を多く学ぶことができたので、実際に災害が起きた際に活かせるようにしたいと思いました。また、日頃から防災について考えておくことの大切さを改めて実感することができました。



簡易スリッパ作り(3年)

学年だより 高1

2025年から2026年へ

あけましておめでとうございます。高校1年生も残りあと3カ月。各クラスの級長に学級目標を振り返り、2026年の意気込みを書いてもらいました。胸を張って高校2年生になれるように有意義な時間を過ごしていきましょう。

1組 級長 五月女 空雅

1組は、「たかなわ」という学級目標掲げて約8カ月間過ごしてきました。この学級目標には「楽しく、賢く、仲良く、輪になって」という意味が込められています。勉強で切磋琢磨しながらクラスの友達と仲を深め合い、嬉しい時には共に喜び、くじけそうになった時はお互い励まし合って過ごしてきました。4月と比べて、今ではクラスの雰囲気明るく、早く学校に行きたいと思えるようになったのもこの学級目標のおかげだと思います。1年1組として過ごせる期間は残り少なくなってきましたが、この目標を大切にしながら、さらに成長し、思い出に残るクラスにしていきたいです。

2組 級長 平塚 瑞稀

1年2組は「一笑懸命」という学級目標のもと、これまでの8カ月を過ごしてきました。この目標は四字熟語の「一生懸命」にちなんでおり、時には笑い合い、時には一生懸命取り組むという意味が込められています。最初は全員が初対面でしたが、互いに自発的にコミュニケーションをとり、授業中も休み時間も明るく楽しい雰囲気です。もちろん、気が緩んで先生方に注意を受けることもあります。それを「伸びしろ」と捉え、残りの時間でさらに良いクラスを目指していきたいです。クラス全員と東出先生、46人で最高の1年2組をつくり上げましょう!

3組 級長 片山 源太

私たち3組は、学級目標に「かまた」を掲げ生活してきました。この学級目標は「活気がある、まじめに、楽しく」の頭文字を取り、何事にも全力で取り組み、全力で楽しむクラスを目指すという意味です。入学当初は慣れない環境に緊張し、知り合いや同じ中学校の友達などの小さいコミュニティで話していましたが、体育祭や建学祭などの行事でクラス全員が協力し合うことで、仲が深まり気軽に話し合えるようになりました。特に建学祭ではクラス全員が話し合いに参加して、全員が楽しめる出し物を決めるために積極的に話し合っ仲を深めました。残り少ない日をクラス全員、全力で楽しんでいこうと思います。

4組 級長 村瀬 紗菜

私たち4組は「ハッピーターン」という目標掲げ、学校生活を送ってきました。この目標には、前向きな姿勢で互いに笑顔を広げ、どんな出来事もプラスに変えていくという思いが込められています。4月からこれまで、私たちは一人ひとりの良さを認め合い、失敗したときには励まし合いながら、この目標を大切に生きてきました。クラス全体が少しずつ明るい雰囲気になっていったのも、この目標を意識してきたからだだと思います。残り少ない時間も、一人ひとりが笑顔を持ち寄り、困難を力に変える「ハッピーターン」の輪をさらに広げていきたいです。これからも全員が安心して挑戦できる、温かく前向きなクラスをみんなでつくっていきます。

5組 級長 船津 俊哉

私たち5組は「一伍一会」という学級目標のもとで生活してきました。この目標は四字熟語である「一期一会」の「期」の字を1年5組の「五」にし、さらに仲間などを指す「伍」に変えた造語です。一期一会は「人との出会いを大切に」「一瞬を大切に」という意味で用いられます。私たちのクラスは、その意味の通りクラスの仲間たちとの出会いを大切にみんな仲良く生活し、また体育祭や建学祭など、5組として一度きりの行事を大切に取り組んできました。2年生に進級するまでの期間が残り少なくなりましたが、今後も「一伍一会」の学級目標のもと、クラス全員で仲良く生活していきたいです。

6組 級長 内野 萌歩

6組の学級目標は「元気ハツラツアラタツ」です。みんな一人ひとり元気であること、担任の新井先生の名前を掛けた目標です。6組は一人ひとり個性があつてとても面白いです。スポーツ大会のドッジボールでは、苦手な人がいた中、団結力のおかげで2位になってとても嬉しかったです。普段の生活ではたくさんいいところがあります。欠席する人が少なくとても元気で、授業担当の先生とても仲が良いです。副級長の2人も、そのほかのクラスメイトもクラスをまとめてくれてとても助かっています。あと約3カ月でこのクラスが終わってしまうのがとても悲しいですが、それまでの短い期間でたくさん楽しみたいと思います!

7組 級長 鈴木 アディーザ 桃夏

私たちは、「青春100% ~元気で認め合い尊敬し合えるクラス~」という目標掲げ、クラス全員が元気に声を掛け合い、互いの違いを認め、それぞれの努力を尊敬し合うことを大切にこれまでの約8カ月を過ごしてきました。体育祭やスポーツ大会でも男女関係なく応援し合い、みんなで楽しめるように声を掛け合って頑張ってきました。行事の準備で意見が分かれた時も、話し合いを重ねて前に進むことで仲間の理解が深まり、クラス中に笑いあふれる、そんなクラスになったと思います。2年生になるまでの残り少ない時間も、互いに支え合い、高め合える存在であり続けたいです。

8組 級長 清水 美咲

私たち8組の学級目標は「buzzle!8組」です。「buzzle!」は、蜂のように活発に動き、みんなで協力しながら楽しい雰囲気を作ろうという思いから生まれました。建学祭では準備の大変さを乗り越えて笑顔で本番を迎え、体育祭では声を枯らして応援するなど、クラス全員で一体感を感じた瞬間がたくさんありました。誰かが挑戦する時には自然と仲間が集まり、励まし合える、そんな温かい空気が8カ月間続いたことが誇りです。1年生のうちに学んだことは、努力すれば必ず結果につながるということ、仲間と過ごす時間の大切さです。2年生では、もっと自分に厳しく、勉強も行事も全力で取り組み、成長していきたいです。

9組 級長 宮澤 瑠香

私たちは、4月に「江波戸優真」という目標掲げました。目指すものの頭文字を取ったこの目標は、これまでを振り返る象徴になっています。まず「江=えがお」の通り、いつもクラスでは笑顔があふれ、仲の良さを強く感じました。「波戸=バードで鳥のように飛び」は、一人ひとりが自分の課題に挑戦し、少しずつ成長していく姿に重なります。「優=優しく」は、体育の授業などで周りが率先して応援をしたり温かさとして表れ、「真=真剣に」は建学祭や体育祭などでの集中力に表れていました。2026年度は、この4つの思いをさらに深め、今よりもう一段成長したクラスの姿をつくっていききたいです。

10組 級長 吉永 謙

私たちの学級目標は「個光の輪」です。これは、個人個人が磨いて光り輝いている個性を尊重し、認め合い手を取り合って輪を作る、協力するように決めた目標です。目標にある通り、私たちのクラスは個性が強く、全然違いますが認め合っていて、振り返ってみてこの目標がとてもあっていると思いました。10組は人数が少ないですが、土曜日にも午後の授業など、クラスメイトという時間が長いからこそ、認め合い仲良くなれたと思います。また、私たちは3年間クラス替えがないので、来年度もこのまま仲良く、それだけでなく新しく目標を決めて、より良いクラスにしていきたいです。

学年だより 高2

高校2年生は、11月17日に港区役所から選挙管理委員会の方にお越しいただき、主権者教育を行いました。

Aさん

今回の主権者教育では、選挙においての一票の大切さを詳しく知ることができました。政治に期待していない人も白票という手段もあるので、とにかく選挙に足を運ぶことが大切だと思いました。また、選挙権を持った若い年代の人たちが投票に行かなくなると、50～60代の投票率の高い世代によって世の中が決まってしまうと学びました。若い年代の人に対してもさまざまな政策をしてくれる人が中心になれるように、選挙権を持ったら必ず投票に行こうと思いました。

Uさん

いろいろなニュースや話の中で若者の投票率が低く、政策が高齢者向けになっているということを聞いて、「じゃあ、投票に行っても変わらないのではないか」と思っていた。しかし、講師の方のお話を聞いて、若者の投票率が低いからこそ、一人ひとりが投票に行く意識を持つことが大切なのだとわかった。また、投票の流れなど、有権者にならないとわからないことを知ることができて勉強になった。

Tさん

選挙について学び、「思っていたよりもずっと大事なことなんだ」と感じた。今までは、ニュースで選挙の話聞いても他人事のように思っていたけれど、18歳になり自分が投票できる立場になると、「自分の一票が社会に影響を与えるんだ」と想像できるようになった。投票の仕方や選挙の仕組みを知ること、政治が身近に感じられるようになったし、候補者や政党の考え方を知ることの大切さもわかった。18歳になったら、選挙に行くために詳しく政治の仕組みについて勉強していこうと思った。

U君

主権者教育で、政治は自分たちの生活に深く関わっていることを実感しました。選挙や税金の使い方など、身近なことが政治で決まるので、情報を正しく理解し、自分の意見を持つことが大切だと思いました。SNSの情報は偏りがある場合もあるので、複数の視点から考える力を身につけたいです。将来、投票するときに「なんとなく」ではなく、自分の意思で選べるようにしたいと感じました。

Kさん

選挙は、若者が投票をしないことで政策がどんどん高齢者向けになっているということがわかったので、若者も積極的に投票をしに行くべきだと考えました。もし、良い候補者がいないときには、投票に行かないという選択肢ではなく、白紙で出すという手段があるということがわかりました。また、期日前投票以外など、誰もが投票しやすいような環境づくりが行われているということがわかりました。

Y君

政治は自分たちの生活に直結していて、参加しないと大事なことを他人任せになるのだとわかった。自分たち若い世代が選挙に参加しないと、投票率の高い50代ぐらいの人たちの意見が通りやすくなるとわかった。



積極的に質問をしました



選挙について考えてみました

学年だより 高3

残りの高輪台生活で頑張りたいこと

高校3年生は、卒業試験明けの11月29日から各学部、学科別の特別講座が始まりました。12月、1月の2か月間は授業だけでなく、企業訪問など、新クラスで大学進学に向け切磋琢磨しています。残りわずかな高校生活で頑張りたいことを書いてもらいました。

学習面

4月からの大学生活や将来の夢、目標に向けて高校生活の間にどのようなことを学習したいですか？

- 言語能力を磨くため、英語やスペイン語などのすでに自分で取り組んでいるものをより勉強していきたいです。(国際学部 国際学科)
- 社会の先生になりたいので、さらに日本史の勉強をしたい。(文化社会学部 心理・社会学科)
- 英検準1級と宅建と日商簿記検定を取りたいので、頑張ります。(建築都市学部 建築学科)
- 生物学、海洋環境。自分が進む学部は生物学や海洋についての知識が必要だから。(海洋学部 海洋生物学科)
- 広告やデザインに関することだけでなく、広報メディア学科で取得することができる学芸員の資格などにも興味を持ち、幅広い分野の基礎的な学習をしていきたい。(文化社会学部 広報メディア学科)
- 大学では西洋史を学ぶので、高校生のうちに私の好きなイギリスの歴史について詳しく調べてみようと思います。また、英語を勉強して英語の資料を読めるようにしておきたいです。(文学部 歴史学科 西洋史専攻)
- 生物などの理系全般科目の基礎を身につけておきたい。(工学部 生物工学科)
- 教員免許取得のために、それに必要な知識を蓄える。資格試験に必要な知識は早いうちから手をつけておく必要があると思う。(児童教育学部 児童教育学科)
- 音響エンジニアや、レコーディング監督など、音楽制作関係の仕事に就くために、大学で学ぶ前に最低限の知識と応用を身につけておきたいです。(教養学部 芸術学科)
- 英検や無線通信などの資格を取る。大学の数学の微積分を復習する。(工学部 航空宇宙学科 航空宇宙学専攻)

卒業までにどのように過ごしていきたいか、どんなことを心掛けて過ごしていきたいですか？

- 高校生活も残り少なくなった中、新クラスになりこれまではあまり関わったことの少ない人もいますので、これからたくさん関わって仲を深めていきたいです。(健康学部 健康マネジメント学科)
- 1月に部活動を引退するので、部活動の時間を大切にしたい。また、同じ学部の子との仲を深めたい。(観光学部 観光学科)
- 体作りを行って大学に備える。(体育学部 競技スポーツ学科)
- 一人暮らしをするため、自分で家事や料理をする練習をする。生活習慣が変わらないように徹底する。(海洋学部 水産学科)

生活面



B.LEAGUE 横濱エクセレンス ボランティアスタッフ



英語A 筆記体でのクリスマスカード作り



出前授業 SMBCコンシューマーファイナンス株式会社

お知らせ

クリスマスツリー点灯式



今年度も11月29日にクリスマスツリーの点灯式が行われました。2014年度に高輪キャンパスが行っている「Takanawa共有プロジェクト」に本校生徒会が参加させていただいたことがきっかけとなり今年度で12年目を迎えました。

高校生徒会副会長 1年7組 澤井 ももこ

2026年度中高生徒会は11月29日にクリスマスツリーやイルミネーションの準備、点灯式を行いました。私は初めて点灯式の準備に参加することができました。想像よりはるかに大変でしたが、約1カ月間皆さんや私たちがツリーを見て楽しめると思うと、とてもワクワクした気持ちになりました。たくさん写真を撮ってくれていたら嬉しいです。

行事予定

※予定が変更になる場合があります。1月は中等部入試、高校入試の出願受付が始まります。詳しくは本校HPをご覧ください。

January / 月

February 2月

- 1日(木) 元日
- 6日(火) 新春懇親会
- 7日(水) 朝礼・短縮授業
月曜の授業日
- 11日(日) 学校説明見学会⑥(中等部)
- 12日(月) 成人の日
- 13日(火) 校医相談日⑨
- 14日(水) 専門医によるカウンセリング⑦
- 19日(月) 学年集会(高2)
- 22日(木) 高校推薦入学試験(生徒自宅学習日)
- 23日(金) 高校推薦入学試験合格発表日(Web)
漢字検定③
- 26日(月) 生徒による授業評価アンケート④
- 27日(火) 特別時程(中1・2、高校:~29日)
卒業試験(中3:~29日)
- 30日(金) 振替休日(2/1分)
- 31日(土) 特別講座終了(高3)

- 1日(日) 中等部第1回入学試験
- 2日(月) 中等部入学試験合否発表(web)
火曜の授業日
- 3日(火) 中等部第2回入学試験(生徒自宅学習日)
マナー講座(中3)
- 4日(水) 中等部入学試験合否発表(web)
- 5日(木) 中等部第3回入学試験(生徒自宅学習日)
Tokyo Sightseeing Tour(中1)
- 6日(金) 中等部入学試験合否発表(web)
答案返却(中3)
- 10日(火) 高校一般入学試験(生徒自宅学習日)
- 11日(水) 建国記念の日
高校一般入学試験合否発表(web)
- 13日(金) 朝礼・短縮授業
- 15日(日) 新入生制服採寸・教材販売(中等部・高校推薦・付属)
- 16日(月) 海外英語研修旅行(中3:オーストラリア ~25日)
- 17日(火) 校医相談日⑩
- 18日(水) 専門医によるカウンセリング⑧
- 21日(土) 生徒自宅学習日
- 23日(月) 天皇誕生日
新入生・保護者登校日(中等部)
新入生制服採寸・教材販売(高校一般)
- 24日(火) 後期期末試験(中1・2:~26日、高1・2:~27日)
- 26日(木) 生徒休業日(中3:~27日)
- 28日(土) 登校日(高3)

編集後記

「六十の手習い」という慣用表現があります。もともとは還暦を迎えてから書写を習い始める、といった意味合いでしたが、数字の部分自身の年齢に置き換えたり習字以外のお稽古事などに挑戦する意で用いたりもされています。要は、どんなことも(それが悪いことではないかぎり)何歳から始めたってOK、ということなのでしょう。よく「若いうちに〇〇しておけばよかった」と言う人がいますが、そんなときは「今からやればいじゃん」というエールを送ってあげてください!新しい年が始まりました。あなたは今年、何にチャレンジしますか?(の)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>